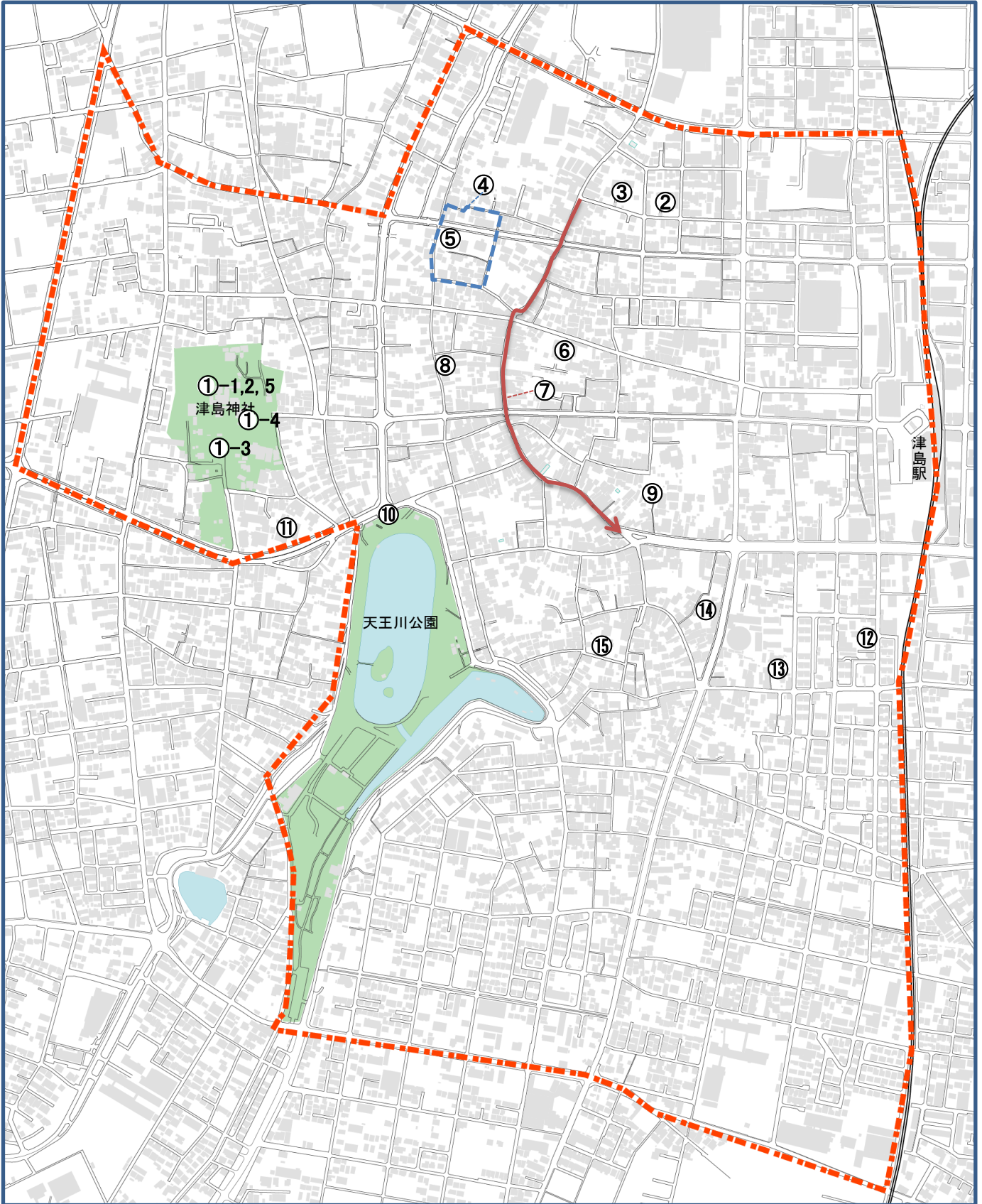


2 津島、戦国武将ゆかりのまち

歩いてみて

2



①-1津島神社



織田信長が氏神と仰いだという。戦国武将の崇敬も厚く、秀吉寄進の楼門、秀頼寄進の南門、松平忠吉の妻寄進の本殿が今に残る。

見所コメント

①-2神紋が織田信長の家紋と同じ



津島神社の神紋は織田家の家紋と同じ木瓜紋である。

見所コメント

①-3牛頭天王、病気を治してくれる



豊臣秀頼が寄贈の南門。病気治癒の牛頭天王の加護を期待して寄進がされた。

見所コメント

①-4豊臣秀吉寄贈。楼門(母の病気を治す為)



病気治癒の牛頭天王の加護を期待して秀吉によって楼門が寄進された。

見所コメント

①-5本殿。家康の四男、松平忠吉が病気がちなので妻が寄贈。



病気治癒の牛頭天王の加護を期待して徳川家康の四男忠吉のために妻が本殿を寄進した。

見所コメント

②不動院



戦国時代織田信秀が連歌師宗長を接待した正覚院は現在の不動院のこと。

見所コメント

③雲居寺



津島衆出身で、桶狭間の戦いで活躍した信長の家臣服部小平太ゆかりの寺。

見所コメント

④江戸時代津島御殿。尾張藩主の別荘



江戸時代尾張藩主徳川義直愛顧の御殿があった。

見所コメント

⑤大掠跡



津島御殿にゆかりのある津島の大掠があった。

見所コメント

⑥成信坊



当寺七世裕念が反信長一向一揆の指導者、本願寺教如上人の身代わりになったと伝わり、津島御坊の称号が授けられた。

見所コメント

⑦本町筋



古い町並みの残る通り。津島の旧市街を構成。

見所コメント

⑧清正公社



加藤清正が幼少の頃寄寓していた叔父の家があったと伝わる地に加藤清正の遺徳を偲んで建てられた。加藤清正公遺跡の碑(津島市祖先の遺産)あり。市指定無形民俗文化財の鬼祭が伝わる。幼少時の武勇伝を伝える。

見所コメント

⑨妙延寺



加藤清正手習いの寺子屋。元は真言宗だが、寛正5(1464年)日蓮宗に改宗し、妙延寺と改めた。加藤清正が幼少時代、叔父の家に寄寓していた頃に妙延寺で読み書き、手習いを習ったといい、境内には清正が双紙を掛けたと伝わる清正双紙掛の松があった。

見所コメント

⑩信長がまつりを見た場所



天王川があった頃、天王橋が架けられていたのはこの辺り。そこから信長が祭りを見たと伝わる。

見所コメント

⑪堀田家住宅



堀田理右衛門家。初代之理(ゆきまさ)は福島正則の中小姓として仕えていた。現在の建物は江戸時代中期の創建。

見所コメント

⑫龍淵寺



秀吉の家臣で、賤ヶ岳七本槍の平野長泰ゆかりの寺。

見所コメント

⑬八剣社



下構の産土神。津島神社境外末社。くつわ踊が伝わる中野町にある神社。

見所コメント

⑭弘浄寺



伊勢長嶋一向一揆の際、信長が布陣。

見所コメント

⑮瑞泉寺



南朝御皇胤の良王君ゆかりの寺。

見所コメント